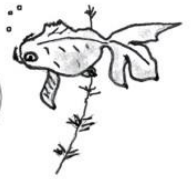




“くらぼーよ”とは  
Collaboration  
コラボレーション  
(共同・協働)と  
~しようよ の組合せ

みんなで  
男女共同参画社会実現  
に向けて活動しようよ



第41号 2017・夏

男女共同参画週間記念講演会に出席して (6月24日 教育センター)

## 「男女共同参画時代の女と男 ～テレビCMを見ながら考えてみませんか～」

講師：NPO法人SEAN理事長 小川真知子さん



小巻さん

小巻健さんのギター演奏で講演会が始まりました。私は、ギターを間近に聴くのは初めてでしたので、とても新鮮でした。目を閉じて聴いていると、小巻さんの奏でるやさしい音色に心が洗われるようでした。また、男女共同参画にちなんだ選曲もあることに改めて感心し、音楽を通じて人を大切にする小巻さんの想いが強く伝わってきました。

続いて、小川真知子さんによる講演に移りました。最初はクイズから始まり、それに答えることが、知ること、考えること、行動することにつながっていくと話を切り出されました。

講演の前半は、男女の賃金格差や平日の家事時間の差、自殺者の割合などのさまざまな実態に触れられ、男女の不平等によって男も女も不幸になっていると強調されました。

後半は「メディア・リテラシー※」を使ってコマーシャルメッセージ (以下、CMと表記) を読み解くため、2000年頃までと2003年以降のCMを見比べました。2000年頃までの洗濯用洗剤のCMでは、ナレーションは男性ですが、エプロン掛けの女性が洗

濯する様子で、その手伝いが女の子、服を汚して帰ってくるのが男の子と固定されていました。ところが、2003年以降では、洗濯物を干すのもその白さに感動するのもすべて男性に代わっていました。また、インスタントラーメンのCMでは、夫が調理し妻は座って待っているシーンが描かれるなど、時代背景に合わせて変わってきたのがよくわかりました。

普段は何気なく見ているCMですが、男女共同参画の視点を持てば制作する側の意図が垣間見えるなど、非常に興味深く感じました。

最後に、小川さんは男女共同参画社会の実現の第一歩として、テレビを見たら“ツッコミ”を入れてみる。そうすれば、自分が何を言いたいのかが見えてきます、と講演を締めくくられました。

小巻さんのクラシックギターと懐かしいCMから、新たな発見ができた楽しく有意義なひとときとなりました。

※ テレビや雑誌、インターネットなどの情報を読み解き、活用すること。

(編集委員：F)



小川さん (右側)

### 男女共同参画に関する 市民企画講座募集中！

募集期間 H29.7.1～8.31

市民や団体が企画する男女共同参画に関する講座を募集し、講座を実施するための支援を行います。

詳しくは、三木市男女共同参画センターにお問い合わせください。

### 今後の男女共同参画セミナー (出前講座) ※申し込み不要



| テーマ                                | 講師      | 日時                       | 会場        |
|------------------------------------|---------|--------------------------|-----------|
| 私も大事、あなたも大事<br>ご近所コミュニケーションのコツを学ぼう | 横山由紀子さん | 8月18日(金)<br>10:00～11:30  | 自由が丘公民館   |
| つながり合うってすてきな！                      | 小林伶子さん  | 8月24日(木)<br>13:30～15:00  | 志染町公民館    |
| オンナの“ものさし”とオトコの“定規”                | 黒崎輝美さん  | 10月25日(水)<br>10:00～11:30 | 三木南交流センター |

## いま、改めて 「男女平等」とは？

熱い夏、玉のような汗を流して白球を追う高校球児の姿は、何とも爽やかだ。今年もまたその夏が巡ってきた。

同時に考えさせられたのが、昨年マスコミを賑わせた「女子マネージャーが甲子園のグラウンドに立つ → 退場」という記事だ。

第98回全国高校野球選手権大会で、試合前の練習中に女子マネージャーがユニフォームを着てグラウンドに立ったところ、大会主催者から制止されたのだ。

大会規定では、「危険防止のためにグラウンドに立つのは男子のみ」と明記されているらしい。その後、大会規定は変更されたということだが、「男子マネージャーは危険でもいいのか？」と逆の意味も考えられるし、リトルリーグや大学野球では許されていることが、高校野球ではダメだということも疑問に感じる。

その賛否は別としても、この種の問題は後を絶たない。

2020年東京オリンピックのゴルフ会場となるゴルフ倶楽部が、女性を正会員として認めてこなかったことが報じられたが、後に女性正会員を容認している。

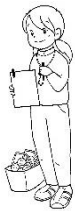
他にも「大相撲の土俵に女性は上がれない」「祭りの屋台や山車に女子は乗れない」や、規則として明記してあるかどうかはわからないが、「女人禁制」とされている寺社も多数ある。

それらに対して「日本の文化だ、伝統だ」などの様々な意見があるのは当然だと思う。

日本の法律は「男女平等」をうたっているが、本当に「平等」だろうか？「平等」って、ただ男性と女性が同じ行動をするだけの意味だろうか？

この夏、高校野球を見ながら「男女平等」について考えるのはいかがかな？

(編集委員：M)



## 株式会社「基陽」の藤田尊子社長 内閣府の「女性のチャレンジ賞」を受賞

起業、地域活動などにチャレンジし、活躍する女性を表彰する「女性のチャレンジ賞」の表彰式が、6月21日に総理大臣官邸で行われ、三木市別所町小林の安全保護具メーカー「基陽」の藤田尊子社長が受賞されました。

男性が9割を超える業界において社長を務める藤田さんは、「ひょうご No.1 ものづくり大賞」、「グッドデザイン賞金賞」を受賞した安全帯など、使いやすさとデザイン性を備えた多くの商品開発を手がけるとともに、働きやすい職場づくりや女性の活躍を推進されたことが高く評価されました。

(「ひょうご男女共同参画ニュース7月号」より抜粋)

## 図書紹介

### おんぶはこりごり



### 『おんぶはこりごり』

アンソニー・ブラウン 作

藤本朝巳 訳 平凡社 2005年

表紙に描かれているのは、じっと我慢するママの背中に笑顔のパパと2人の男の子たち。

毎日3人のお世話をするママは、ある日「ぶたさんたちのお世話わ、もうこりごり！」のお手紙を置いて家を出て行ってしまいました。それから3人は…、そしてママは…。

楽しい仕掛けがいっぱいの絵を楽しみながら、家族みんなで読んでほしい一冊です。



### 『ホワイト企業』

### ～女性が本当に安心して働ける会社～

経済産業省 監修

文藝春秋 2013年

産休・育休や時短の取りやすさという「働き続けやすさ」と、出産後もやりがいのある仕事を女性に任せているかという「活躍しやすさ」を満たしている「ホワイト企業」。

本書では、そんな「ホワイト企業」の選び方と、代表的な25社の取組を紹介しています。就活中の方、転職を考えておられる方、そして出産後、仕事と家庭の両立に不安をもっておられる方、ぜひ参考にしてください。

## 三木市男女共同参画センター 愛称 “こらぼーよ”

三木市福井 1933-12

三木市立教育センター3階

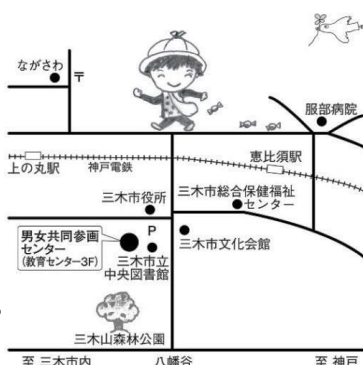
TEL&FAX：0794-89-2331

開館日時：月曜～金曜 9時～17時

(※祝日を除く)

企画・編集：情報誌“こらぼーよ”編集グループ

発行：三木市男女共同参画センター



## ❖ 編集後記 ❖

7月の東京都議選では、女性議員が127議席中36人と過去最高の28.3%となりました。躍進の背景や要因はいろいろあるにしても、女性の政治参加の面からは歓迎すべきことです。

国政や地方議会で、女性議員を増やすには、社会全体の意識改革はもちろんですが、具体的な制度の実現が早急に望まれます。(編集委員：S)

